第50巻　第2号　予告

特集：食品衛生管理とHACCP（仮題）

HACCPシステムの動向（仮題）……山崎　省二
食品衛生管理とHACCP事例（仮題）……藤原真一郎
FSOとリスクアナリシス（仮題）……温泉川肇彦
食品保健行政とHACCP（仮題）……松岡　隆介
食品衛生監視員の教育研修（仮題）……佐藤　吾郎

編　集　後　記

最近は，少年の「切れる」事件が多発しているが，今度は大阪で，小学校の児童が殺傷される事件が起きた。8名の児童の幼い命が奪われた。犯人は37歳で少年のカテゴリーではないがなにか事件の背後に類似した要因が見え隠れする。最新医学はゲノムばやりで，なんでも遺伝子のせいにしたがる風潮であるが，実は生まれてからの生活環境要因が無視できないように思われる。ここに，公衆衛生学的アプローチの真価が問われているといっても言い過ぎではないだろう。

本号の特集は「21世紀の公衆衛生―現場から―」である。これらの特集記事は，これからの公衆衛生のありかた，その方向性を模索している。

(2001年6月12日　記す)

丹後俊郎（編集委員長）

第48回日本小児保健学会のお知らせ

会期：2001年11月16日（金）－11月18日（日）
会場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）
主題：21世紀はこどもの世紀　―こどもたちに何をなすべきかー
プログラム内容：
1．会頭講演「乳幼児健診のあり方（仮題）」　青木継稔
2．特別講演
　①21世紀のこどもの心の健康を育むためにどうするか（仮題）　河合隼雄
　②すこやか親子21　平山宗宏
　③２１世紀はこどもの世紀　―21世紀の小児保健を考える　前川喜平
3．招待講演
　①Child Health in Taiwan in the 21th Century　Hung-chi Lue, MD, Ph.D
　②ケントからみた日本の子育て（仮題）　ケント・デリカット
4．シンポジウム
　① 小児の虐待は予防できるか
　② 青少年の犯罪と育児は関連するか
　③ 21世紀の乳幼児健診はどのようにあるべきか
　④ 予防接種はどのようになるのか、どのようにしなければならないのか
　⑤ 乳幼児の心の健康について誰が、どこで、どのように指導するか
5．その他、教育講演9題、ランチョンセミナー4題を予定

学会事務局：東邦大学医学部第2小児科学教室（鈴木五男）
〒153-8515　東京都目黒区大崎2-17-6
℡03-3468-1251　FAX 03-3468-2927
http://www.med.toho-u.ac.jp/ped2